

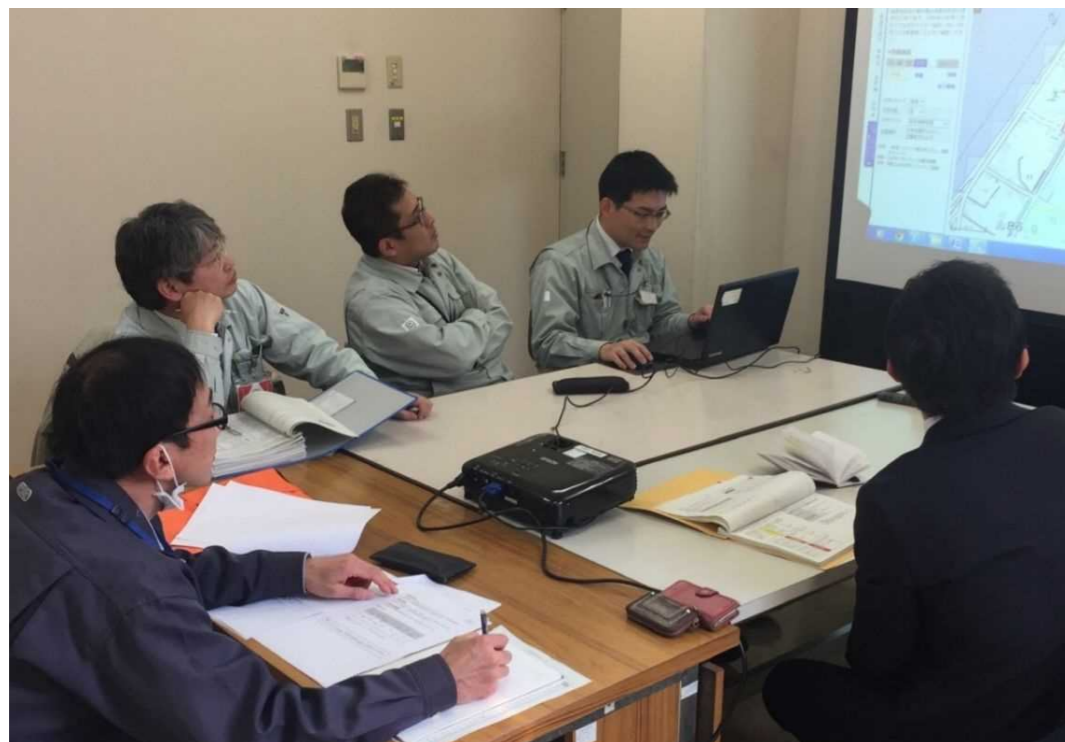
湖北圏域の取組方針に基づく平成30年度の取組内容

1. 要配慮者利用施設における避難確保計画策定

取組項目	実施時期	取組機関
・対象となる全要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練の実施を目指し、支援する	H34.3まで	長浜市 米原市 滋賀県
・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況および施設の位置付けの見直しについて、毎年協議会の場において進捗状況を確認する	順次実施	

取組の流れ	実施機関	実施年度
① 避難確保計画作成支援として、モデルとなる要配慮者利用施設（社会福祉施設・医療提供施設・学校施設等）を湖北圏域で1箇所抽出する	滋賀県 長浜市or米原市	H30年度
② 施設で想定される災害リスクの共有を行うため、職員および利用者への出前講座を実施する	滋賀県 長浜市or米原市	
③ 施設管理者、市と協議を行い、支援の範囲等を決め、実情にあった避難確保計画（案）を作成する	滋賀県 長浜市or米原市	
④ 避難確保計画（案）に関する意見交換	協議会担当者会議	
⑤ 市地域防災計画への位置づけについて情報共有	滋賀県 長浜市or米原市	

- 取組① モデル施設として「社会福祉法人湖北会ワークス坂田」（米原市）を選定
- 取組② 12/25 出前講座を実施。流域治水の取組、計画策定の背景、水害リスクを説明。
- 取組③ 1/30、2/27 避難確保計画について、疑問点等の助言を実施。
- 取組④⑤ 3/19 平成34年3月完了の方策について協議
地域防災計画への位置づけについて、今後の予定等を共有



湖北会ワークス坂田との協議

【様式編】

水害・土砂災害の 避難確保計画

【施設名：ワークスさかた】

目次
（提出した場合に提出）

..... 1	} 様式 1
..... 1	
..... 1	
..... 2	} 別紙 1
..... 3	
..... 4	} 様式 3
..... 5	
..... 6	} 様式 5
..... 6	
..... 7	} 様式 6
..... 7	
..... 8	} 様式 7
..... 9	
..... 10	} 様式 9
..... 10	
..... 10	} 様式 10
..... 10	
..... 10	} 様式 11
..... 10	

町村への提出は不要

作成例 8 様式 7

..... 9 様式 8

..... 10 様式 9

..... 10 様式 10

..... 10 様式 11

自衛水防組織を設置する場合のみ作成

任務

防活動の指揮統制、状況の把握、
容の記録
による避難の呼び掛け
報等の情報の収集
及び関係機関との連絡

任務

導の実施
者、要救助者の確認

任務

必要な方の対応

任務

料の確保および配分など

図】 洪水ハザードマップの想定浸水域および浸水深から、以下
さかたおよび各活動場所から家庭に連絡後、
なまり、送迎が開始できない場合は、エキシブへ
避難。

ワークスさかた

-3-

-14-

-2-

湖北圏域の取組方針に基づく平成30年度の実施内容

2.重要水防箇所における共同点検

取組内容	実施時期	取組機関
・1級河川における重要水防箇所について、5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市町が共同点検を実施する	H33.6まで	長浜市 米原市 滋賀県
・水防資機材について、河川管理者、水防管理者の保有情報を共有する	順次実施	
・協議会の場において、共同点検の実施状況、水防資機材の状況について確認する	順次実施	

取組の流れ	実施機関	実施年度
① 重要水防箇所の抽出 ・水防活動の実績 ・過去災害 ・流下能力低い箇所等	滋賀県 長浜市 米原市	H30年度
② スケジュールの検討（5ヶ年点検計画）		

取組①
長浜市域で17箇所、米原市域で19箇所の重要水防箇所を選定。
取組②
H30年度は、8箇所の共同点検を実施してカルテを作成。

重要水防箇所点検カルテ（案）

点検日：平成30年7月19日 点検箇所：⑨米川神前町地先(南岸)

平面図

スケール: 地図出典:長浜市都市計画図(白図)

位置
北緯 35° 22' 59.4"
東経 136° 16' 14.3"

状況写真(上流側)

状況写真(下流側)

状況写真(共同点検)

1.水防活動の実績
越水予防措置(止水パネル・土のう・排水ポンプ)
平成28年度 1回 台風
平成29年度 4回 台風

3.洪水予報河川、水位周知河川のネック地点

5.水防資機材保管箇所

重要水防箇所点検カルテ（案）

点検日：平成30年8月8日 点検箇所：2-③天野川(左岸)長岡地先

平面図

スケール: 地図出典:米原市都市計画図(白図)(ME383、384)

位置
北緯 35° 21' 39"
東経 136° 22' 20"

状況写真(上流側)

状況写真(下流側)

状況写真(共同点検)

1.水防活動の実績
平成26年度以降活動実績なし
(※1)ロープのみの
※H24.9.9の豪雨時に堤防天端付近まで水位上昇

2.過去被害、復旧工事

4.計画流量に対して最も流下能力の低い箇所

6.その他
確認地点
天野川橋 下流左岸
堤防天端からの下がり

共同点検5箇年計画（長浜市域）

点検工程表（5ヶ年計画）（案）

番号	箇所	平成30年度					平成31年度					平成32年度				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
①	⑥高時川(右岸) 錦織町地先 水防活動実績															
②	⑦高時川(左岸) 長岡地先 洪水予報河川(ネック地点)															
③	⑨米川神前町地先(南岸) 水防活動実績															
④	⑮高時川びわ北地区水防倉庫 水防資機材保管箇所 ⑥高時川開運水防倉庫															
⑤	⑧高時川(左岸) 木之本町小山地先 洪水予報河川(ネック地点)															
⑥	⑩大川塩津中地先(南岸) 水防活動実績															
⑦	⑪余呉川(左岸) 木之本町黒田地先 水位周知河川(ネック地点)															
⑧	⑫余呉川(左岸) 余呉町中之郷地先 水位周知河川(ネック地点)															
⑨	⑬大川塩津地区水防倉庫 水防資機材保管箇所 ⑩大川開運水防倉庫															
⑩	④姉川(右岸) 相模地先 水位周知河川(ネック地点)															
⑪	⑤姉川(右岸) 今町地先 洪水予報河川(ネック地点)															
⑫	⑬田川(右岸) 中野町地先 水防活動実績															
⑬	⑯田川虎姫第二・第四水防倉庫 水防資機材保管箇所 ⑯田川開運水防倉庫															

番号	箇所	平成33年度					平成34年度				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭	①姉川大浜町地先(右岸) 水防活動実績										
⑮	②姉川中浜町地先(右岸) 水防活動実績										
⑯	③姉川(左岸) 南浜町地先 洪水予報河川(ネック地点)										
⑰	姉川びわ南地区水防倉庫 水防資機材保管箇所 ①、②姉川開運水防倉庫										

共同点検5箇年計画（米原市域）

点検工程表（5ヶ年計画）（案）

番号	箇所	平成30年度					平成31年度					平成32年度				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
①	2-③天野川(左岸) 長岡地先 水防活動実績 その他(確認事項) 天野川橋 下流左岸天端															
②	11-⑩政所川(左岸) 大野木地先 水防活動実績 その他(確認事項) 政所川橋 下流左岸天端															
③	11-⑪政所川(右岸) 大清水地先 水防活動実績 その他(確認事項) 出町橋 下流右岸天端															
④	2-⑩天野川(左岸) 長岡地先 水防資機材保管箇所															
⑤	2-①天野川(左岸) 岩盛地先 水防活動実績 その他(確認事項) 箕浦橋 下流左岸天端															
⑥	2-②天野川(右岸) 能登瀬地先 水位周知河川(ネック地点)															
⑦	4-④葉種川(桁下) 西門寺地先 水防活動実績 その他(確認事項) 葉種川(新田)橋(ニューエコー)桁下															
⑧	5-⑤長老堂地川(桁下) 能登瀬地先 水防活動実績 その他(確認事項) 第2宮前橋(能登大蔵寺倉庫)桁下															
⑨	2-⑦天野川(右岸) 岩盛地先 水防資機材保管箇所															
⑩	6-⑥丹生川(桁下) 上丹生地先 水防活動実績 その他(確認事項) みなくも橋(能登多賀部井組)桁下															
⑪	8-⑦梓川(壺水橋) 河内地先 水防活動実績 その他(確認事項) 河内会館西側 壺水橋															
⑫	12-⑧砂川(桁下) 柏原地先 清水田地 水防活動実績 その他(確認事項) 団地橋 桁下															
⑬	14-⑩桂川(右岸) 柏原地先 中山道 水防活動実績 その他(確認事項) 柏原橋山崎1号橋 下流右岸天端															
⑭	15-⑪市場川(左岸) 柏原地先 中山道 水防活動実績 その他(確認事項) 市場橋 下流左岸 天端															

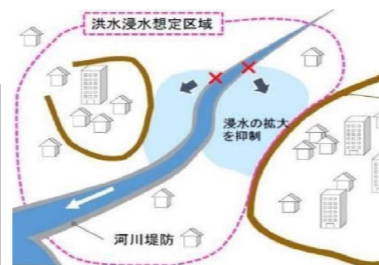
番号	箇所	平成33年度					平成34年度				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮	9-⑨弥高川(桁下) 杉澤地先 水防活動実績 その他(確認事項) 高杉橋(能登山東伊吹組)桁下										
⑯	10-⑩油里川(桁下) 天満地先 水防活動実績 その他(確認事項) 油里川橋 桁下										
⑰	19-⑮出川(桁下) 村居地先 水防活動実績 その他(確認事項) 農道橋 壺水橋 桁下										
⑱	20-⑯姉川(左岸) 井之口地先 水防活動実績 その他(確認事項) 姉川河川敷公園 左岸 天端										
⑲	20-⑰姉川(左岸) 伊吹地先 水防資機材保管箇所										

湖北圏域の取組方針に基づく平成30年度の取組内容

3. 浸水被害軽減地区の抽出（長浜土木）

浸水被害軽減地区の指定

洪水浸水想定区域内において、浸水の拡大を抑制する施設（連続盛土構造物）を保護することを目的に、水防法第15条の6の規定により、地区指定を行うものである。



取組項目	実施時期	取組機関
・ 浸水被害軽減地区の対象となる施設について抽出し、氾濫シミュレーション等の情報を提供する	H31.3まで	滋賀県
・ 協議会の場を活用して、指定の予定や指定にあたっての課題を共有し、連携して指定に取り組む	順次実施	長浜市 米原市 滋賀県

取組の流れ	実施機関	実施年度
① 河川区域外の輪中堤防その他の帯状の盛土構造物が存する土地で、浸水の拡大を抑制する効果がある土地を抽出	滋賀県	H30年度
② 抽出された土地の家屋等の立地状況や土地利用状況、過去の浸水等の情報収集	滋賀県 長浜市 米原市	
③ 提供された情報をもとに浸水被害軽減に関する意見交換	協議会担当者会議	

候補地の確認結果

- ・ 浸水被害軽減地区の候補地として、堤内地の盛土構造物や霞堤など14箇所を選定。
- ・ 地形図等により土地利用状況を確認したところ、道路や鉄道などの公共施設であった。
- ・ 改変の可能性は低く、指定に至る盛土構造物はないと判断した。

● 浸水被害軽減地区候補一覧

候補地 No.	図郭	外水要因となる河川	候補地の用地管理者	背後地の家屋数	指定対象の評価	
1	姉川1	姉川	(官地)	100軒以上	不要	官地であるため、指定の必要なし。
2	姉川2	姉川	県・JR・不明	100軒以上	不要	官地も含むため、指定の必要なし。
3	姉川3	田川	県	(集落遠方)	不要	官地であるため、指定の必要がない。
4	姉川4	田川	国	100軒以上	不要	官地であるため、指定の必要なし。
5	姉川4	田川	JR	100軒以上	不要	官地(鉄道)であるため、指定の必要なし。
6	姉川5	姉川	国	少	不要	官地であるため、指定の必要なし。
7	姉川5	姉川	JR	少	不要	官地(鉄道)であるため、指定の必要なし。
8	姉川5	姉川	県	50軒程度	不要	官地であるため、指定の必要なし。
9	姉川7	姉川	NEXCO西日本	100軒程度	不要	官地(高速道路)であるため、指定の必要なし。
10	姉川7	姉川	(官地)	100軒程度	不要	官地であるため、指定の必要なし。
11	姉川9	姉川	(官地)	25軒程度	不要	官地であるため、指定の必要なし。
12	高時川2	高時川	NEXCO西日本	100軒以上	不要	官地(高速道路)であるため、指定の必要なし。
13	高時川3	高時川	県	100軒以上	不要	官地であるため、指定の必要なし。
14	天野川1	天野川	国(国道) 民地(山付)	50軒程度	不要	山付は民地の可能性があるが、切土上に官地(国道)があるため、指定の必要なし。

No.11(霞堤、堤防道路)

The analysis for No.11 shows a flood inundation forecast map with a legend for '周辺50mとの標高差(m)' ranging from 0.1 to 0.4. The flood depth map shows depths from 0.1 to 0.5 meters. The aerial photo shows the location of the '霞堤' (mist dike) and '堤防道路' (levee road) with a blue arrow indicating the direction of the forecasted flood. The ground confirmation photo shows a road next to a building, with a blue arrow pointing towards the road.

No.14(氾濫原を二分する山と国道8号線)

The analysis for No.14 shows a flood inundation forecast map with a legend for '周辺50mとの標高差(m)' ranging from 0.1 to 0.4. The flood depth map shows depths from 0.1 to 0.5 meters. The aerial photo shows the location of the '山' (mountain) and '国道8号線' (National Route 8) with a blue arrow indicating the direction of the forecasted flood. The ground confirmation photo shows a mountain and a road, with a blue arrow pointing towards the road. A yellow dashed line indicates the '候補となる山' (candidate mountain) and a red dashed line indicates the '国道8号線' (National Route 8).

湖北圏域の取組方針に基づく平成30年度の取組内容

3. 浸水被害軽減地区の抽出（木之本支所）

取組項目	実施時期	取組機関
・ 浸水被害軽減地区の対象となる施設について抽出し、氾濫シミュレーション等の情報を提供する	H31.3まで	滋賀県
・ 協議会の場を活用して、指定の予定や指定にあたっての課題を共有し、連携して指定に取り組む	順次実施	長浜市 米原市 滋賀県

取組の流れ	実施機関	実施年度
① 河川区域外の輪中堤防その他の帯状の盛土構造物が存する土地で、浸水の拡大を抑制する効果がある土地を抽出	滋賀県	H30年度
② 抽出された土地の家屋等の立地状況や土地利用状況、過去の浸水等の情報収集	滋賀県 長浜市 米原市	
③ 提供された情報をもとに浸水被害軽減に関する意見交換	協議会担当者会議	

- ・ 浸水被害軽減地区の候補地として、堤内地の盛土構造物や霞堤など6箇所を選定。
- ・ 地形図等により土地利用状況を確認したところ、河川区域内であったり、浸水に拡大を抑制する効果が期待できない構造物であった。
- ・ 河川区域内の盛土構造物は改変の可能性が低く、指定に至る盛土構造物はないと判断した。

● 浸水被害軽減地区候補一覧

候補地 No.	外水要因となる河川	河川区域内か	指定対象の評価	備考
1	高時川	区域外	不要	民地（工場内）であり、規模が小さく効果が期待できないため、指定の必要がない
2	山田川	区域外	不要	微高地を切り開いた地形であり、背後地に家屋もないため、指定の必要がない
3	余呉川	区域外	不要	陰影図上は盛土が確認できるが、現地確認結果より宅盤自体が高くなっているため指定の必要がない
4	高時川	区域内	不要	河川区域内であるため、指定の必要がない
5	高時川	区域内	不要	河川区域内であるため、指定の必要がない
6	高時川	区域外	不要	標高が高く高時川との地盤高の差が約17mと大きいため、高時川による浸水の可能性が低いので、指定しない

No.3(微高地)

陰影図	浸水深(地先の安全度マップ 1/200年確率)
<p>盛土3 延長:約90m 盛土高:約1.0m</p>	
航空写真	現地確認
	<p>宅盤自体が高く盛土構造物ではない</p>

No.4(霞堤)

陰影図	浸水深(地先の安全度マップ 1/200年確率)
<p>盛土4 延長:約100m 盛土高:約1.5m</p>	
航空写真	現地確認
	<p>河川区域内のため指定の必要がない</p>

湖北圏域の取組方針に基づく平成30年度の取組内容

4. 土砂災害危険箇所以外の抽出・基礎調査

取組項目	実施時期	取組機関
・新たに判明した土砂災害リスク箇所を抽出し、基礎調査を完了し公表する	H32.3まで	滋賀県

取組の流れ		実施機関	実施年度
①	事業の進捗に伴い新たに発覚したリスク箇所を抽出する	滋賀県	H30年度
②	抽出された土砂災害リスク箇所の基礎調査を実施する		

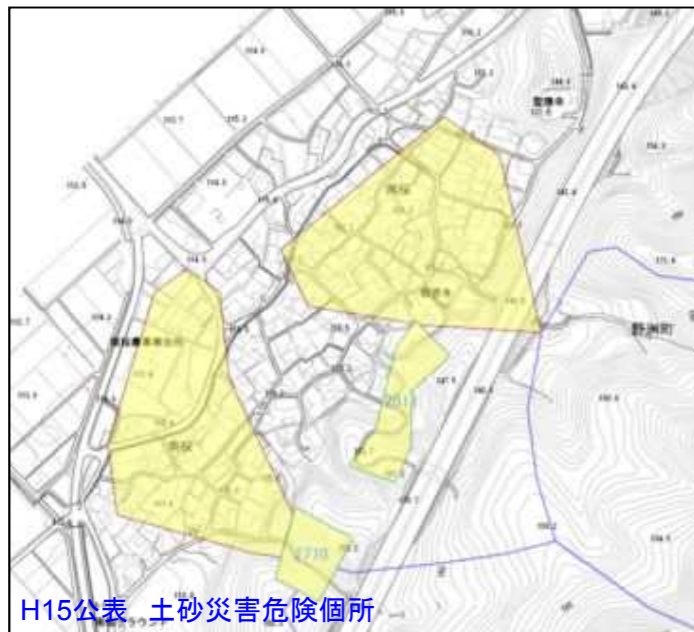
基礎調査スケジュール

業務	H29	H30	H31	H32	H33	H34~
基礎調査(危険箇所)	■					
新規箇所抽出		■				
基礎調査(新規箇所)			■	■	■	■
区域指定	■	■	■	■	■	■

基礎調査(新規箇所)箇所数

市町	調査箇所数
長浜市	265
米原市	209
合計	474

危険箇所以外のリスク箇所例



5. 土砂災害警戒情報基準 (CL) の見直し

取組項目	実施時期	取組機関
・土砂災害警戒情報の検証をし、発表基準の見直しを行い運用を開始する	H31.6まで	彦根地方気象台 滋賀県

取組の流れ		実施機関	実施年度
①	新たな降雨データや土砂災害データに基づき、土砂災害発生危険基準線(CL)を見直す	滋賀県	H30年度
②	彦根地方気象台との協議および各市町への説明会、有識者による委員会での検討を行う		

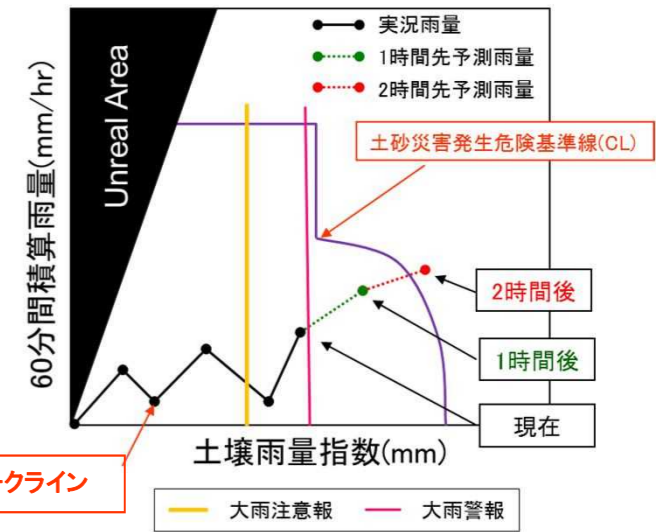
土砂災害警戒情報の発表基準について

・土砂災害警戒情報は、**2時間後の予測雨量が土砂災害発生危険基準線(CL)を超過した場合に発表**する。

精度向上のポイント

①最新の知見に基づく計算パラメータを適用することにより、**夕立などの短時間降雨による土砂災害警戒情報の空振り(予測が外れること)を軽減**

②新しい降雨・災害を基準に反映



平成30年度の取組内容

H30.9 ~ H30.11

・既往の土砂災害について、規模・発生時刻等を市町へヒアリングし精査
・有識者による「滋賀県土砂災害警戒情報検討委員会」を計3回開催し、新しい土砂災害発生危険基準線(CL)の案を検討・作成【滋賀県砂防課】

H30.12

・土砂災害警戒情報の発表が不要な人家等のない山間部について、警戒情報発表除外格子を市町へヒアリングし反映【滋賀県砂防課】

H30.12 ~ H31.2

・新しい土砂災害発生危険基準線(CL)をもとに、大雨警報(土砂災害)・大雨注意報(土砂災害)の新基準を検討・作成【彦根地方気象台】

H31.2 ~ H31.3

・新基準(素案)を市町へ意見照会
・基準の改訂説明会を、「気象予報区分の市町」ごと開催【滋賀県砂防課・彦根地方気象台】

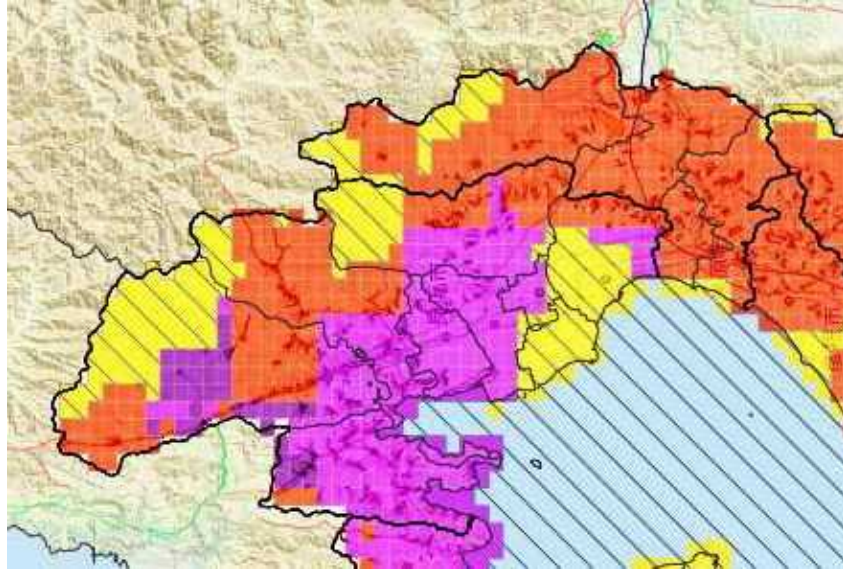
H31.4

・新基準(案)を市町へ意見照会【滋賀県砂防課・彦根地方気象台】

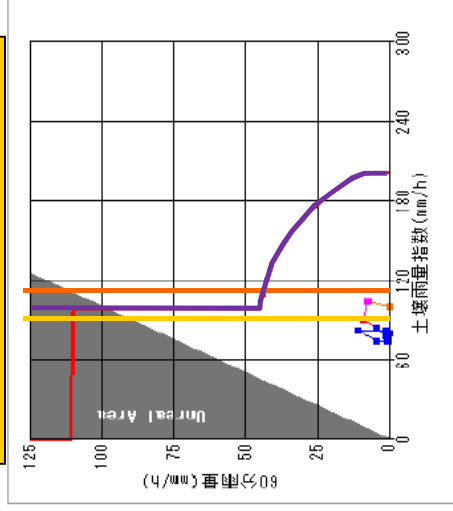


土砂災害警戒情報補足情報

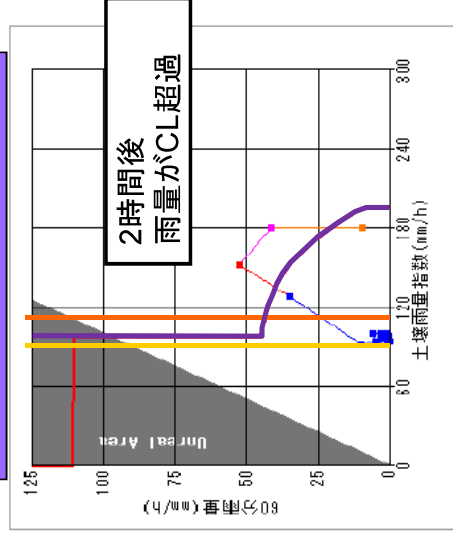
土砂災害の危険度は、**4段階に色分けし表示**されます。



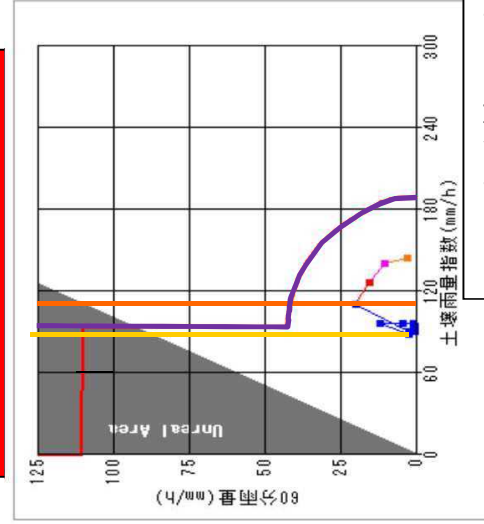
今後の雨量に注意



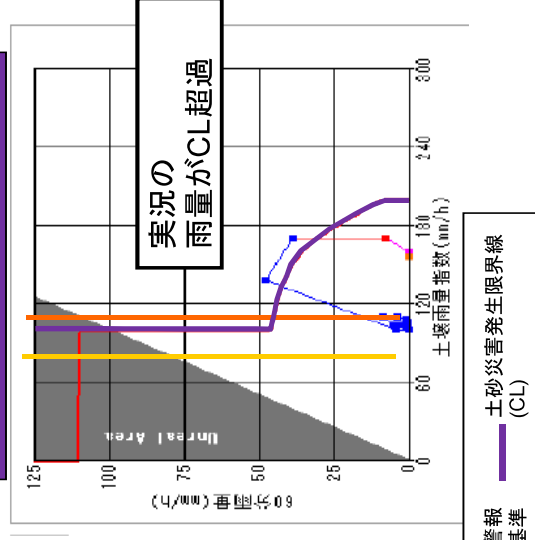
避難開始の目安



避難準備開始の目安



土砂災害発生の恐れ



黄
赤
薄紫
濃紫

今後の雨量に注意
避難準備開始の目安
避難開始の目安
土砂災害発生恐れ大
判定対象外

大雨注意報 発表基準
大雨警戒 発表基準
土砂災害発生限界線 (CL)